



海外 稲門会の躍動

Overseas TOMONKAI

登録稲門会 検索

現在、約70の海外稲門会が世界各地で活動しています。海外に滞在する際は、現地の稲門会を検索して参加してみましょう。
※一部、活動休止中の稲門会もありますことを、ご了承ください。

ロサンゼルス稲門会について

□ サンゼルス稲門会は、海外稲門会の中でも一、二を争う古い歴史を誇り、今年で設立65周年を迎えます。会員数も130人に及び、



秋の早慶ソフトボール大会

幅広い活動をしています。特にスポーツ面では、テニス、ソフトボール、ゴルフ、卓球の活動が活発で、慶應大との対抗試合、日韓4大学での交流試合などがあり、ゴルフ部は22大学OB会対抗試合に参加しています。スポーツのほかにも、イエール大学との植樹祭など共同ボランティア活動にも力を入れて、他校とのつながりを大切にしています。

また、第三木曜日の月例幹事会では、会の活動、運営などの話し合いがなされ、幹事のみならず若い会員たちの参加を大いに期待して、みんなが楽しめる会作りを目指しています。秋には新人歓迎会を催す予定ですが、早稲田からアメリカの大学への留学生などにも声を掛け、相互交流に力を注ぎます。友永会長の下、これからも70周年記念の大きな目標に向けて、さらに活発に活動を続けていきたいと思っています。

大須賀美津子(1976年教育)

ロサンゼルスの魅力



(上)ハモサビーチ沿いの海風爽やかな遊歩道
(下)人気の現代美術館「ザ・ブロード」は入場無料

およそ1,900万人もの人口を抱えるロサンゼルス大都市圏。ここでは、アメリカ有数の大都市であるにもかかわらず、サーフィンやビーチバレーが楽しめるビーチが広がり、年間平均晴天日数が329日といわれる天気もあいまって、西海岸らしいレイドバックな雰囲気が漂っています。

太平洋を挟んで日本にも近く、当地の在留邦人数は約7万人、日本企業は2,000社以上が拠点を置くなど、日本との関係も深い土地です。130年以上前に日本からの移民が住み着き、当地に暮らす日系人の人口は18万人以上。さらに日系以外のアジア系、ヒスパニック系、アフリカ系など多様な人種やエスニック・グループが居住しています。

また映画、農業、観光、IT、宇宙航空、物流と多岐にわたる分野でアメリカをけん引する産業が盛んで、ロサンゼルスはさまざまな側面でアメリカの原動力である「多様性」を具現化しています。

三木昌子(2004年文学)

会長メッセージ

□ サンゼルス稲門会の設立は1954年で、65年の歴史を持ちます。会員は約130人で、留学生から90歳の方まで世代や性別を超えて和気あいあいとした雰囲気の中、さまざまな交流を図っています。

また、西海岸は日本から渡航しやすいこともあり、歴代の早稲田大学総長をはじめ、政財界で活躍されている方など、多くの校友が訪れてくださり、そのたびに大きな刺激をいただいています。昨秋就任された田中愛治第17代総長が6月25日に来訪された際にも、歓迎会を開催しました。総長が掲げておられる「世界で輝く

WASEDA」の実現に向け、我々ロサンゼルス稲門会においても自分たちにできることは何かと一人一人が考え、それを実行に移し、母校のますますの発展に寄与したいと考えています。

当会は2024年に70周年を迎えます。その年の総会には、現役応援部を招いて、ここロサンゼルスの青空の下、みんなで『早稲田大学校歌』『紺碧の空』を熱唱したいと考えています。まだ少し先の話ですが、その際は、皆さんもぜひロサンゼルスにお立ち寄りいただき、一緒にご唱和いただけたらと思います。

友永順平(1990年教育)

会員からのメッセージ

□ ンフォートゾーンから抜けることがいかに大事か力説されても、居続けたい所がある。私にとってその場所は稲門会。なぜなら外国に住み続けるというのは大変なのだ。文化や政治状況、社会常識などが異なる人たちと交流するのは確かに知的好奇心が刺激されて面白いが、それは絶え間なく全速力で走るようなもの。たまには、気を緩めたくなるときもある。私にとっての稲門会は、東京のサラリーマンが新橋に抱く気持ちと同じようなものかもしれない。

黒沢由紀(1994年文学)

永住組が多いのがロサンゼルス稲門会の特徴。会員の多くは駐在あるいは旅行でロスを訪れ、その開放感に魅了されて居着いてしまった人々なので、稲門会は楽天的で陽気な人間の集まる居心地の良い組織です。日本へのノスタルジーを優しく包み込み、早稲田への誇りを思い出させ、青春時代にタイムスリップさせてくれる。そんなありがたい存在です。年齢もキャリアも違い、異なる人生を歩んでいるに

もかかわらず、「都の西北」で青春時代を過ごしたという共通体験からくる絆と仲間意識。改めて早稲田を卒業して良かったと思っています。

廣瀬祐二(1997年政経)

私 はアメリカ、ロサンゼルスでビジネスを始めて30年になります。多民族国家アメリカの素晴らしいところは、比較的容易にビジネスマーケットに入れる、しがらみのない社会であることです。その分、厳しさしつこと熾烈な競争があります。そんな中、ロサンゼルス稲門会は、同じ日本人、同窓生としての共生があり、先輩後輩の上下関係がなく、思いやりがある会です。お互いが楽しみ、助け合う素晴らしい会です。私もロサンゼルス稲門会に入って良かったと思っています。良き諸先輩との出会いがあり、言葉に尽くせぬほどお世話になりました。

また、ここロスにはいろいろな民族の人が住んでおり、多様な文化が身近にあります。それぞれの国で長い歴史の中で培われたものには大変興味が湧きます。そんな多民族文化に肌で触れながら、あらためて日本の歴史、文化、民族の素晴らしさを感じています。さらに、多民族国家の良いところは、各国の料理が本場に近い味で食べられることです。また、気候の良さもロサンゼルスの魅力です。

水野 穰(1967年教育)

(左)新人歓迎バーベキューパーティー
(右)イエール大学との共同ボランティア活動

